

東北農政局長賞

有機農業・環境
保全型農業部門
(個別経営の部・生産)

農事組合法人

さきがけ
魁

平成27年に次世代を担う農業後継者の育成と技術の継承を目指し設立。
令和5年3月には東北地域で第1号となる「環境負荷低減事業活動計画」の認定を受け、持続可能な産地づくりに取り組む。

代表者名：鈴木 文雄
所在地：山形県尾花沢市
品目：そば、水稻、ミニトマト

面積：231ha
構成員：9名

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組】

- そばと水稻の全面積で地域内の牛ふん堆肥を施用。化学肥料の削減に加え、土壌への炭素貯留、地域内資源の循環にも寄与。
- 葉緑素計によって水稻の栄養状況を客観的に判断するとともに、ほ場を巡回し、追肥量が過剰とならない施肥を行う。

【効率的な生産に向けた取組】

- 分散管理していた各種作業機械や乾燥・調製設備の集約や、水稻育苗ハウスを新たに整備するなど作業を効率化。

【情報伝達の取組】

- 令和2年より小学校の体験学習に協力し、地域ゆかりの水稻「さわのはな」の栽培体験や出前授業を行うことで地元や農業の良さを発信。

【人材育成活動】

- 先輩農業者みなで見守り、育てることを大切にしながら次世代への農業経営を円滑に継承できる経営体として、地域を牽引。令和3年に入社した若手従業員は優良事例として研修会で発表。



農事組合法人魁の皆様



そばの栽培圃場の様子



優良事例発表の様子

ホームページ・SNS等